

## JETAA は最強の広告塔！ ～シンガポール支部が JET プログラムの広報に挑む～

シンガポール事務所

設立から6年目を迎えた JETAA シンガポール支部は今年、英語と日本語の両言語で交流する「おしゃべりカフェ」や浴衣文化を紹介しながら着付けを教える「浴衣ワークショップ」など、新たな企画満載で活動しています。「JET プログラム説明会」もそのひとつで、大使館と CLAIR からの要請に応じる形で JETAA が企画し、シンガポールで初めて開催されました。最近の JETAA シンガポール支部の活動と併せてその様子をご紹介します。

### 1 JET プログラム説明会 (Publicity for JET Programme)

※2014 年 10 月 10 日開催

シンガポールでは、JET プログラムの募集案内を大使館のホームページへの掲載や、シンガポール国立大学ほか各大学への送付などによりお知らせしていますが、JETAA が自らの経験を直接伝えることで JET プログラムへの関心を高め、応募者の増加につなげようと、JETAA のみならず、大使館と CLAIR にとっても初めての試みに挑戦しました。手探りでの企画、準備そして運営の殆どは、JETAA メンバーが中心となって進められました。

開催日は金曜日の夜、どれだけの人が参加してくれるか、そんな心配も当日には嬉しい悲鳴に変わりました。会場となった大使館が運営する文化広報施設「Japan Creative Centre (JCC)」は予想を上回る参加者で溢れ、メンバーは皆、緊張した面持ちながらも生き生きとそれぞれの役割を果たしていました。



ALT としての経験を話す JETAA メンバー（上段）と熱心に聞き入る参加者（下段）

参加者たちは JETAA メンバーの話を真剣に聞き、積極的に質問する姿もみられました。

質問内容は、JET プログラムへの応募手続きから日本での生活に関することまで多岐にわたり、終了予定時間になっても会場内は白熱した雰囲気になっていました。

今回の経験は今後に生かされ、来年度は更に充実した説明会になると確信しています。



CIR についての意見交換

## 2 YUKATA Workshop

日本の文化を愛する JETAA メンバーが、「浴衣」を紹介するイベントを開催しました。開催したのは8月。常夏のシンガポールにあってもこのイベントにふさわしい日本の「季節」を意識しています。

参加者は募集から間もなく定員に達し、会場には女性だけでなく男性の姿もありました。

前半は浴衣文化について、着物と浴衣の違いや



着付け後の記念撮影

上げていく中、一人、二人をお手伝いするだけで精いっぱいでした。後から聞いた話では、メンバーは前日の夜に男性用の着付けを特訓したそうですが、とてもそうとは思えないほど上手に着付けていました。

この日講師を務めた JETAA メンバーたちは、浴衣姿のまま観劇やコンサートに出かけたようです。それぞれの会場で、彼女たちの姿が一際目を引くものであったことは間違いのないでしょう。日本文化の

※2014年8月2日開催



浴衣文化のプレゼンテーション

最近流行りのデザインなどを紹介しましたが、メンバーの豊富な知識には脱帽です。後半は、参加者全員が浴衣の着付けを学びました。ワークショップ用に星日文化協会（The Japanese Cultural Society, Singapore）からのレンタルやメンバー所有の浴衣が集められましたが、自分の浴衣を持参している参加者もいました。

私自身も浴衣を着ますが、他人に着付けをした経験はありません。メンバーたちが次々に参加者の着付けを仕

上げていく中、一人、二人をお手伝いするだけで精いっ



健闘した講師陣

頼もしくも美しい広告塔です。

### 3 おしゃべりカフェ (Oshaberi Café)

※2~3か月毎に開催



おしゃべりカフェの趣旨を説明する  
JETAAメンバー

日本語と英語が飛び交うカフェ。多文化が共生するシンガポールでは決して珍しくない光景ですが、少し不思議なのは、日本語を話しているのはシンガポール人、英語を話しているのは日本人だということです。JETAAが発信しているフェイスブックやメールを通じて様々な人が集っています。

シンガポールで生活していても、私たち日本人が地元の人たちと触れ合い友達になれる機会は自然に訪れるものではありません。また、日本語を学ん

でいるシンガポール人にとっても、教室以外で日本語を使う機会を得るのは難しいものです。日本で日本語を学びながら、ALTとして英語の指導をしていたJETAAメンバーはその経験から、お互いの言語でコミュニケーションすることが、言語の習得と相互理解に欠かせないことを理解しています。気軽に楽しく、言葉に窮したときにはお互いに教えあって会話を続けることができる、そんな交流の場を提供しています。もちろん、「JETって何?」という参加者にJETプログラムについて説明することも忘れていません。参加者の中には、当日の会話に困らないよう、事前に「JETプログラム」と「JETAA」について調べて来る人もいますので、広報効果も侮れません。



カフェへの常連客も増えています

### 4 良きパートナーとして

今回ご紹介した以外にも、日本の料理、和太鼓、マンガなどの日本文化を体験するイベントや、大使館の支援によって設置された日本語学校での専用クラスへの参加など、JETAAシンガポール支部は活発に活動しています。

JETプログラムの充実と発展のためには、日本国内と招致国内双方でJETプログラムの存在感を高める必要があります。JETAAの活動にはその効果が期待されていますが、JETAAは帰国後もJETプログラムに関わる活動を続けてくれているボランティア団体です。発足して6年という若い彼らの活動にとって一番の原動力は、JET参加者として日本で経験したことや出会った人々を大切に思う気持ちと、日本を好きだという想いにあります。私たちCLAIRは彼らの気持ちと想いに沿いながら、一緒にJETプログラムを盛り立



てていく良きパートナーとしてその成長に期待を込めて、今後も大使館とともに活動を支えていきたいと思えます。



未来のJETAAメンバー2014 来日JETと  
JETAAメンバー（壮行会にて）



シンガポール商工会議所事務局長と  
語り合う2014 帰国JETたち（歓迎会にて）

（鈴木所長補佐 東京都江東区派遣）

